

## 羽ばたけ世界へ！沖縄の子供たちとクリアオリジナル紙飛行機

総務部企画調査課

「国際交流フェスティバルでクリア PR のブースを出したい。でも、主な対象が、一般県民で、特に多いのは子供たちやその保護者なんです」と沖縄県支部さんからご相談を受けたのは初秋のこと。子供たちを主な対象に「クリア」を PR する機会は、ほぼなかった私たちは、しばし悩んでしまいました。でも、そんな機会はめったにないので、是非とも成功させたい。

### プリントアウトして使える紙飛行機を考案

分かりやすさと親しみやすさに焦点をあて、「JET プログラム<sup>1</sup>の PR を主軸にするのがいいかもしれませんね」とお話し、クリア本部でも、子供たちが楽しめて、持って帰れる PR グッズを考えてみることにしました。そして、お金をかけず、子供が楽しめるものをママ職員二人で考案し、手作りで誕生したのが、「クリアオリジナル紙飛行機」。普通のプリンターで A4 用紙に印刷した折り目と番号にそって、折っていくと、最後に羽の部分にクリアと JET プログラムのロゴが出てくる、そしてよく飛ぶすぐれもの紙飛行機です。



(クリア飛行機)

沖縄県支部さんでも、オリジナル折り紙やクリアの活動をととても簡潔に分かりやすく紹介する資料などを作成してくださいました。この準備を通じて、私たちが本当にうれしかったのは、「クリア沖縄県支部」として、少しでも、地域のみなさんに、クリアの取組みを PR したい、という沖縄県支部さんの熱い思いでした。

### 大勢の参加者で賑わった「クリアブース」

そして、迎えた当日。「CLAIR 沖縄県支部」ブースは大盛況だったようです。

CIR<sup>2</sup>（国際交流員）や ALT<sup>3</sup>（外国語指導助手）の活動を前面に出しながら、JET プログラムやクリアを PR してくださいました。たくさん送られてきた写真は、賑やかな笑顔であふれていました。そして、子供たちの手には、あの紙飛行機！

上手く折れたかな、上手く飛んだかな。

CIR との触れ合いの中から、世界を知り、世界を見つめ、夢を膨らませてくれたでしょうか。青空にフワッと飛び出す紙飛行機のように、たくさんの希望や夢に向かって一歩飛び出せ、沖縄の子供たち。羽の「CLAIR」印に込めた願いがいつか届きますように。

沖縄県支部の玉城さんをはじめ、関係者のみなさん、本当にありがとうございました。

次ページに沖縄県支部さんから頂いた報告を添付します。楽しいブースの様子をご覧ください。

(原主査 総務省派遣)

# JICA 沖縄国際協力・交流フェスティバル 2011 CLAIR 沖縄県支部

## 報告書

### 1. 実地概要

- (1) 開催日時 2011年11月26日(土)、27日(日) 9:30~18:00
- (2) 目的 沖縄から発信される国際協力・交流の成果を発表し、国際協力(ODA)に対する県民の支持拡大を図る。
- (3) 開催場所 JICA 沖縄国際センター
- (4) 実施体制 主催: JICA 沖縄国際センター  
共催: 沖縄県、浦添市、財団法人沖縄県国際協力センター(JICE) 沖縄支所、  
青年海外協力協会(JOICA)
- (5) 来場者数及び参加団体数  
来場者数: 3554人  
出展団体数: 58団体

### 2. CLAIR 沖縄県支部ブースの内容

- 掲示物
- ・ CLAIR 概要
  - ・ CLAIR NAVI (活用方法について)
  - ・ JET PROGRAMME とは
  - ・ 県内 CIR プロフィール (4名)
  - ・ 県内 ALT 写真紹介
  - ・ CLAIR ポスター
  - ・ JET ポスター

- 展示物
- ・ CLAIR FORUM2011.4~12
  - ・ CLAIR DVD (PR)
  - ・ CIR お仕事紹介スライドショー
  - ・ 地球儀 (海外事務所紹介)

- 配布物
- ・ パンフレット
  - ・ リーフレット
  - ・ CLAIRひこうき (企画調査課 作製)
  - ・ CLAIRおりがみセット (沖縄県支部 作製)



(CLAIRブース)



(DVD/スライドショー)

### 3. 会場の様子/まとめ

沖縄県支部初めての参加（出展）となった「JICA フェスティバル 2011」は、東京本部、県の協力の下、CLAIR を PR するのに十分な準備と様々なアドバイスをいただき、当日を迎えることができました。

一般県民への国際交流の情報発信と、関係者への CLAIR 活用法 PR を目的に、幅広くダイレクトに知ってもらえるよう、地域に根付く「JET PROGRAMME」の写真展から具体的な「CLAIR 活用法」まで、テーマ別でレイアウトしました。



(ブース見学者)

会場全体の来場者数は 3,554 人で、1 階正面玄関入り口付近という立地条件もあり、オープン時から来客が途絶えることなく、終始賑やかな雰囲気でした。



部屋内は、沖縄県国際交流事業（アジアユース事業/ジュニアスタディ事業/ウチナンチュ大会 2011）、県 CIR（4 ブース）、CLAIR 沖縄県支部の 8 つのブースで構成されます。

CIR ブースでは、民族衣装の試着や楽器演奏、文化クイズ等、来場者が直接 CIR と触れあい、他国の文化・習慣に深い関心を寄せている姿が印象的でした。

CLAIR ブースでは、教育関係者への CLAIR 活用についての説明や、一般（特に保護者）への JET PROGRAMME 多言語指導について、海外事務所への派遣経験のある自治職員からのメッセージ等、多方面への PR と理解を深めることができました。

今回、CIR と連携をとることで、細かな連絡や情報収集、ミニイベント等、参加者の生活に身近なプログラムへとつなげることができました。

これから支部と CIR との関連イベント活用により、CLAIR の自治体支援（窓口・情報発信）を広げ、更に地域へ PR していければと考えています。



(ペルー出身者の家族と CIR)

ご協力いただきました企画調査課の皆さまに、心より感謝申し上げます。



---

<sup>1</sup> JET プログラム (「語学指導等を行う外国青年誘致事業」 The Japan Exchange and Teaching Programme) とは、外国語教育の充実や地域レベルでの国際交流を推進することを目的として世界各国の外国青年を各地域に招致する、世界最大級の国際交流事業です。CLAIR では、総務省、外務省、文部科学省と連携し、JET プログラムを推進しています。

<sup>2</sup> CIR (国際交流員 : Coordinator for International Relations) : 地方自治体の国際交流部局等で主に国際交流活動に従事しています。

<sup>3</sup> ALT (外国語指導助手 : Assistant Language Teacher) : 教育委員会や学校で、外国語授業等における外国語担当教員の助手を務めます。

